

18章 近代文化の発展

問題

■確認問題

- 1 フランス 2 3～4年 3 国定 4 女子英学塾 5 ナウマン
6 薬師寺東塔 7 鈴木梅太郎 8 Z項 9 徳富蘇峰 10 三宅雪嶺
11 横浜毎日新聞 12 時事新報 13 破戒 14 ホトトギス 15 高橋由一
16 コンドル 17 文芸協会

【1】

解答

- A (イ) c (ロ) b (ハ) e (ニ) b (ホ) d (ヘ) b
(ト) d (チ) b
B [あ] 開成所 [い] 明六社 [う]・[え] フェノロサ, 岡倉天心
C 1 平民主義 2 切支丹禁制高札廃止 3 a 4 c

解説

A

(イ) 植村正久は、日本基督教の主導者で、初期のキリスト教会を担った人物である。一番町（日本基督教団富士見町）教会の牧師をつとめ、正統派福音主義信仰の確立に寄与し、国内のキリスト教がややもすれば「日本主義」として変質しようとするのを防いだ。『旧約聖書』の翻訳という業績も大きい。

(ロ) 福地源一郎は幕臣で、明治初め、1868（明治元）年に「江湖新聞」を発行し、新政府を批判して幕府を弁護したことが政府の怒りを買い、「江湖新聞」は発刊の翌月に廃刊に追い込まれた。のちに伊藤博文と親しみ、長州閥と接近したが、明治初期には反新政府のジャーナリストとして活躍したのである。

(ハ) 慶應義塾の創始者である福澤諭吉は、幕末の幕府による遣外使節に随行して欧米に渡った際に、臨時の幕府の翻訳官となり、のちに正式に幕臣として外国奉行の翻訳御用として御目見得となっている。

(ニ) 新島襄は、上野安中藩の江戸屋敷に生まれており、幕臣ではないが、佐幕派の藩の出身である。1864（元治元）年、脱国して渡米している。1875（明治8）年、同志社英学校を設立した。

(ホ) 高橋由一は、江戸で生まれた下野佐野藩士の子であり、これも「佐幕派出身者」である。当初狩野派に学ぶが、嘉永年間（1848～54）、洋製石版画に接し、西洋画の学習を志す。1862（文久2）年、藩書調所画學局に入り、川上冬崖の指導を受ける。明治期には、フォンタネージの指導を受けた。代表作には「鮭」がある。

(ヘ) 勝海舟は、旗本の子として生まれた幕臣であり、幕末には、軍艦奉行として活躍した。1864（元治元）年、神戸に海軍操練所を開き、坂本竜馬などを育成した。西郷隆盛との会見

で、共和政体構想を暗示した。1868（慶應4）年3月、これも西郷との会見により、江戸城の無血開城を果たした。明治新政府においては、海軍の創設に活躍した。

(ト) 津田真道は、美作津山藩士の子として生まれた。江戸で箕作阮甫、佐久間象山に洋学を学んだ後、蕃書調所教授手伝並を経て渡蘭、帰国後は開成所教授となっている。明治に入ると新政府に出仕し、法制関係の役職を歴任した。また、明六社同人として、啓蒙書を多く執筆している。

(チ) 渋沢栄一は、武蔵の郷士の子として生まれ家業に従事してのち、江戸にて尊攘運動に加わった。その後、一橋家に仕えたため、徳川慶喜が將軍となると、幕府の陸軍奉行支配調役の任についた。つまり、幕臣である。明治新政府においては、実業界を指導し、金融業、各種産業、運輸業の確立に努めた。

B

[あ] 開成所は、幕末の洋学教育の中心機関であり、1863（文久3）年、洋書調所から改称後、1868（明治元）年、明治政府が開成学校と改めるまで存続する。教授に、西周^{にしあまね}、加藤弘之、津田真道らがいた。

[う]・[え] フェノロサは、1878（明治11）年に来日したアメリカ人の哲学研究者である。^{かのうほうがい} 来日後まもなく、日本美術の研究を始め、1884（明治17）年、鑑画会を結成し、狩野芳崖らと新たな日本画の創造運動を展開した。また、岡倉天心とともに東京美術学校創立に尽力し、開校後は美術史を講じた。フェノロサに哲学を学んだ岡倉天心は、1890（明治23）年、東京美術学校の校長となった。新日本画運動を推進し、美術教育や古社寺保存に尽力したほか、美術誌「国華」を創刊した。

C

1 山路愛山はキリスト教徒である。彼は、平民政義を唱える徳富蘇峰が設立した民友社に入社し、同じく徳富蘇峰が主宰した「国民新聞」の記者となった。北村透谷との論争で文名を高めた。

2 欧米の非難を受けて、政府は、1873（明治6）年、切支丹禁止の高札を撤廃した。以後、信仰の自由を得た隠れキリスト教徒が解放されると同時に、欧米からのキリスト教宣教師の来日が本格化した。

3 明治のキリスト教は、初期社会主義運動に大きな影響を与えた。キリスト教徒の木下尚江は、社会主義協会に入るとともに、社会民主党の創立に参加している。また、平民社同人でもあった。

4 広津柳浪^{ひろつりゅうろう}は、実業家を志し農商務省の官吏となるが、その後挫折し、1889（明治22）年、硯友社同人となり『残菊』を刊行する。1895（明治28）年、『変自伝』『黒蜥蜴』で深刻（悲惨）小説のジャンルを開いた。

【2】

解答

A	3	B	2	C	4	D	3	E	5	F	1	G	4	H	1
I	2	J	2	K	1	L	5	M	3	N	2	O	4	P	1
Q	4	R	3	S	5	T	3								

解説

(イ)

「新条約の調印に成功したが、他の国がこれに反対したため挫折」から、Aは寺島宗則と判断してほしい。同時に、新条約を調印したEがアメリカであることもわかるはずである。因みに反対した他の国とはイギリスとドイツである。寺島が条約改正の方針としたのは、協定関税制の撤廃を交渉の目標とすることであった(Dは3となる)。領事裁判権については、国内法の未整備という大きな問題点があったからである。寺島は、1国との交渉により成功例をつくり、それを基に他の国に拡大するという方法を探った。交渉相手として選んだのは、おそらく最も日本に好意的だったと思われるアメリカであった。その目論見は一旦は成功し、アメリカとの間で新条約の調印が行われたが、イギリスとドイツの反対で、アメリカ議会の批准が得られなかった。

寺島宗則は、ビッドルが浦賀に来航する前年(1845)、江戸に出て、伊東玄朴げんぱくらについて蘭学を学んだ。幕府が、洋学所を蕃書調所と改称整備した年(1856)に、蕃書調所教授手伝となる。本文中の「幕府の遣欧使節」とは、1862(文久2)年に、新潟・兵庫の開港延期を目的にヨーロッパに派遣した文久の遣欧使節団である。一行は、フランス・イギリス・オランダ・プロシア・ロシア・ポルトガルを歴訪し、翌年帰国した。使節団には福沢諭吉や福地源一郎もいた。使節団の帰国した1863(文久3)年は激動の年だった。將軍徳川家茂は攘夷派の圧力から天皇に攘夷期限を5月10日と奏上し、それを言質として長州藩は下関で外国船を砲撃した。薩摩藩は逆に、生麦事件の報復としてイギリスにより鹿児島を砲撃される。薩英戦争である。このとき鹿児島に帰郷していた寺島は、イギリスが捕獲した薩摩藩所有の船に乗船していて捕虜となった。Bは判断が難しい問題である。

1869(明治2)年の版籍奉還に際しての官制改革で外務省(長官は外務卿)が設置された。初代外務卿は七卿落ちの沢宣嘉さわのぶよし、寺島は外務大輔。その後、外務卿には岩倉具視、副島種臣が就任し、明治六年の政変で副島が下野すると寺島が外務卿に就任した。外務卿が外務大臣となるのは内閣制度ができた1885(明治18)年から。因みに、選択肢の外国事務総督と外国事務局督は三職の時代の役職、外国官知事は政体書の時代のもので、覚える必要はない。

(ロ)

『経国美談』からFは矢野文雄(竜溪)となる。「北海道開拓使官有物払い下げ事件と同時に起こった(I)」つまり「明治14年の政変」で下野したのだから、Gは大隈重信。Hは黒田清隆と五代友厚の出身藩の薩摩。

『経国美談』は自由民権運動の宣伝手段であった政治小説の代表作。他には、東海散士の『佳人之奇遇』、末広鉄腸の『雪中梅』を覚えておけばよい。この問題では「柴四朗」が東海散士の本名であることを知っておかなければならないという点で、やや難問である。

Kは、復古主義、アジア主義、自然主義は論外として、開化主義なのか、ナショナリズムな

のか判断がつかないだろう。自由民権運動は天賦人権論という欧米から入ってきた思想に基づく政治文化の文明開化なのである。その意味では西欧化を追求する政府と共通するところがあったといえる。

(ハ)

「民友社」「平民主義」からJは徳富蘇峰とわかる。

●平民主義・・・民友社・・・国民之友・・・徳富蘇峰

●国粹主義・・・政教社・・・日本人・・・三宅雪嶺・志賀重昂

の対比は基本なので覚えておこう。民友社発刊のNの「国民新聞」は少し難しい。Mのジーンズは熊本藩が創立した熊本洋学校に招かれたアメリカ人教師。彼の指導を受けてキリスト教に入信した人々が結成したのが熊本バンド。メンバーの一人に海老名彈正^{えびなだんじょう}がいる。

徳富蘇峰は下関条約に対する三国干渉を契機に國權論に転換するといわれる。そのため国民新聞は政府系新聞と見なされ、ポーツマス条約をめぐって起きた日比谷焼打ち事件や、大正政変=第3次桂内閣の辞任を勝ち取った第一次護憲運動に際して民衆の焼打ちを受けた。

(ニ)

坪内逍遙の『小説神髓』は評論であり、その理論に基づき書かれた『当世書生氣質』は小説。^{とうせいしょせいいたぎ}選択肢にある『新曲浦島』、『桐一葉』、『役の行者』、『沓手鳥孤城 落月』も坪内の作品だが、後に演劇活動に入ってからの戯曲に属す。

坪内の写実主義の理想を発展させたのがRの二葉亭四迷である。彼は「だ調」の言文一致体を用いて『浮雲』を書いた。

『しがらみ草紙』「没理想論争」とキーワードはあるがSの森鷗外を答えるのは難しいだろう。『しがらみ草紙』は最初の本格的文学評論雑誌。「没理想論争」は、現実を写実するだけでは飽き足らなく、理想の必要性を主張した鷗外と坪内との間で行われた論争である。

Tについては明治の新劇活動の次の対比は基本である。

●文芸協会・・・坪内逍遙・島村抱月

●自由劇場・・・^{おさない}小山内薰・2代目市川左團次

合わせて大正期の新劇活動も覚えておこう。

●芸術座・・・島村抱月・松井須磨子

●築地小劇場・・・小山内薰・土方与志

島村抱月と小山内薰が明治期と大正期に出てくるので混同しないように注意したい。

【3】

解答

問1 学制　問2 ハ　問3 木　問4 イ　問5 ニ　問6 団・菊・左
問7 口　問8 イ　問9 口　問10 ハ

解説

問1・問2　近代教育制度の確立に関する問題は頻出である。

- 学制（1872）　フランスの学制に倣う
- 教育令（1879）　アメリカの教育制度を基に
- 学校令（1886）

という流れは基本である。問1は史料文中に学制であることを直接確定する根拠となる語句は見られない。その後、問3で教育令、問4で学校令について扱っているので、それ以前の教育関連法規である学制であろうと推定する。または「文部省上奏」が1878（明治11）年で、その中で改正をするとするならば、1878（明治11）年以前に出されている学制であろうと推定する。いずれにせよ推定する力が必要とされる。

問3　教育令の史料を受験生が見ることはまずないので難問である。木を教育令とは異なるものと推定することができればよい。ポイントは「学区」である。教育令は、学制の「学区」を廃止したところが特徴である。

問4　イの文中にある「国定」に気づくことがポイント。1886（明治19）年の小学校令によって教科書は検定制が布かれたが、1902（明治35）年に起きた教科書採用に際しての贈収賄事件、いわゆる教科書疑獄事件を契機として国定教科書制度に変わった。

問5　史料文中の「平民的」という語句に気づくことがポイント。ヨーロッパの文明は本来平民的なものであるのに、日本では貴族的なものとなり一部の階級にしか享受されていないことを問題にしている。かくして、平民的な西欧化をめざす平民政義を唱導した徳富蘇峰が解答になる。

問6　明治期の歌舞伎の黄金時代を、9代目市川団十郎、5代目尾上菊五郎、初代市川左團次の1文字ずつを取って団・菊・左時代という。

江戸時代に歌舞伎は庶民の娯楽として発展した。幕末から明治初期にかけての歌舞伎作者である河竹黙阿弥は、幕末期には盜賊を主人公とする白浪物、明治初期には文明開化の世相を背景とする散切物を書き庶民の好みに応えてきたが、その卑俗さが批判され、引退を決意する。因みに彼が黙阿弥と名乗るのは引退を決意した時からである。

明治10年代の末には官主導の演劇改良運動が起り、女形の廃止など歌舞伎にとって大問題が生じるが、幸いこれは短期間で終焉する。

歌舞伎自体も活歴と称された、史実を重んじる写実的な演出の演目に重きが置かれ、1889（明治22）年には福地源一郎によって歌舞伎座が完成し、明治20年代には歌舞伎の復興期を迎えた。この時代が団・菊・左時代である。

問7　近代音楽教育に関する問題である。音楽取調掛は、西洋音楽を小学校教育に取り入れようと考えた伊沢修二の提案で文部省に設置されたもの。アメリカ人のメーソンを招き、唱歌・洋楽器による音楽教育や、『小学唱歌集』の編集を行った。1887（明治20）年に東京音楽学校となり、初代校長には伊沢修二が就任した。

雅楽部は宮内省に属し、宮中祭礼の音楽を司る。

問8 イの白馬会が違うことは容易にわかるはず。白馬会は明治期の洋画運動の団体。

●明治美術会・・・脂派やには・浅井忠「収穫」

●白馬会・・・・外光派・・・黒田清輝「湖畔」「読書」

の対比は基本である。

問9 少し判断に迷う選択肢が並んでいる。イは、フェノロサがアメリカ人であるということは基本として、だからといってイギリス生まれでない保証はない。しかし、実際にはフェノロサはアメリカのマサチューセッツで生まれた。亡くなったのがイギリスである。

ロはフェノロサが日本美術を教えるために東京大学に招かれる事はありえないが、ならば何を教えるためとなるとあやふやになる。哲学や理財学（経済学）を担当した。

ハは工部美術学校が政府の殖産興業政策の一環として設置されたことを考えれば時期が違うことがわかる。工部美術学校に招かれた教員は、絵画のフォンタネージ、彫刻のラグーナなどで、いずれもイタリア人である。

ニの鑑画会は岡倉天心らと作ったもので、日本美術の再興をめざしたもの。

ホは1890（明治23）年にフェノロサは帰国、ボストン美術館に勤めたので、間違いである。美術に関心のある人は、ボストン美術館にフェノロサが日本で収集したコレクションが収蔵されていることを知っているかもしれない。因みに、フェノロサを東京大学に推薦したのはモースで、モースの日本の陶磁器のコレクションもボストン美術館に収蔵されている。

問10 『みだれ髪』が樋口一葉ではなく与謝野晶子の歌集であることは明らか。樋口一葉の作品では『たけくらべ』は知っておきたい。題名は『伊勢物語』からとられたもの。吉原を舞台に、妓楼の養女美登利と寺の息子信如のほのかな初恋を描いた作品。